

10月

月間指導計画

3歳児



保育目標		保育者に見守られながら友だちと一緒に簡単なルールのある遊びを楽しむ。 身の回りのことを自分でやろうとする。 秋の自然にふれて、自然物をつかった遊びを楽しむ。			
子どもの姿		鬼ごっこなど簡単なルールのある遊びを保育者と一緒に行っている。 自然物をじっくり見られる姿があり、草花や虫の変化に気がついている。			
年間区別		ねらい	環境・構成	予想される子どもの活動	配慮事項
養護	生命	保育士に見守られながら衣類を調節し、健康に過ごす。	保育士が衣類調節することの心地よさを伝えることで、自分で脱ぎ着する機会をつくっていくようにする。	保育士に声をかけてもらいながら、衣類を調節する	サイズがあっていない、厚着で登園している場合には個別に保護者に声をかけて、衣類の用意をお願いしていく。
	情緒	保育士に様々な気持ちを受け止めてもらいながら、安定して過ごす。	午睡前は必要に応じてエアコンを使用し、絵本タイムを設けることでゆったりと入眠できるようにする。	自分から布団に入り、午睡する。	急に不安になる、泣き出すといったいつもとは違う様子が見られたときには保護者にも伝達し、園と家庭と双方で子どもにゆったりと関わるようにしていく。
教育	健康	戸外遊びあとなど、手洗いうがい着替えを自分から行う。	戸外遊びが終わる前に事前に声かけをすることで自分からできるようにする。	手洗いうがいをする。	一斉に手洗い場に子どもが向かうことでトラブルの原因にもなるので、グループごとに声をかけるなどの工夫をする。
	人間関係	ルールのある遊びを友達とする。	事前に保育者が実際にやってみるなどして、子どもたちがわかりやすいようにルールを伝える。	鬼ごっこなどを保育者と一緒に行ってみようとする。	ルールがまだ曖昧な子などがいるときには保育者が仲介に入り、遊びの中でルールを気づけるように配慮する。
	環境	玩具や自分の持ち物の片付けを自分でしようとする。	子どもたちがわかるラベリングやおもちゃ箱の大きさにすることで片付けやすい環境を整える。	片付け際には子どもが片付ける場所をみつめることができる。	片付けずに次の活動に行こうとする子には保育者が声をかけるようにし、できた際にはしっかり褒めて片付ける習慣を身につけられるようにしていく。
	言語	自分が見たものや感じたことを相手に伝えようとする。	簡単なストーリー性のある絵本などを読み聞かせし、子どもたちの発信を受け止めていく。	知っていることなどを保育者や友だちに伝えたり、答えたりする。	言葉のやりとりが楽しめるように、保育者は言葉の先取りをせずに丁寧に関わる。
	表現	秋の自然物を使った制作に取り組む。	あらかじめ保育者が見本例を提示し遊び方なども伝えることで興味をもって取り組めるようにする。	マラカスやはっぱのお面作りを楽しむ。	素材によってはのりでくっつかないものもあるので、両面テープなどを用意しておく。
食育		さつまいもの収穫時には見学し給食にはわかりやすい形で提供することで、旬の食材に興味を持てるようにする。	年長クラスの収穫を見学する前に芋掘りに興味もてるような絵本やペープザートを見ることで関心を持てるようにする。	さつまいもの収穫を見学する。	実際の収穫したものを見たり触ったりする際にはグループごとに行い、一人ひとりの発言をゆったりと受け止めていくようにする。
健康・安全		戸外活動前には子どもに道路での約束事などを確認する機会を持ち、ルールを守れるようにしていく。			
保護者支援		秋の検診について、衣類への記名や当日の髪型などをお便りなどを使って周知し、検診後場合によっては個別に連絡を行う。			